

科目名	介護過程Ⅲ（介護過程の展開の実践）			
到達目標	<p>○実務者研修課程で学んだ知識・技術を確実に習得し、活用できる。</p> <p>○知識・技術を総合的に活用し、利用者の心身の状況等に応じて介護過程を展開し、系統的な介護（アセスメント、介護計画立案、実施、モニタリング、介護計画の見直し等）を提供できる。</p> <p>○介護計画を踏まえ、安全確保・事故防止、家族との連携・支援、他職種・他機関との連携を行うことができる。</p> <p>○知識・技術を総合的に活用し、利用者の心身の状況等に応じた介護を行うことができる。</p>			
指導の視点	介護過程について十分に理解したうえで、原理・原則を踏まえた知識と技術を総合的に活用しながら、一連の過程を利用者の心身の状況に応じて実践したものを評価する。			
授業項目	時間数	通学	通信	目標・講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等
介護過程・基礎的理解	7.5	3.5	0.0	<ul style="list-style-type: none"> ・介護過程の意義、目的、展開 ・アセスメント、基本情報、ICF ・情報収集の留意点、客観的観察、主観的観察 ・情報の解釈、関連付け
Aさん事例①		4.0	0.0	<ul style="list-style-type: none"> ・Aさん：72歳男性、要介護2、脳梗塞の後遺症（右片麻痺） ・情報シート、情報の読み解き、疾患理解
Aさん事例②	7.5	7.5	0.0	<ul style="list-style-type: none"> ・ICF、分析シート、生活課題 ・目標、計画、評価
Aさん事例③	7.5	7.5	0.0	<p>【実技演習】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①車イス介助 ②つえ補講介助 ③立ち上がり介助 ④移乗介助
Cさん事例①	7.5	7.5	0.0	<ul style="list-style-type: none"> ・Cさん：95歳女性、ターミナル、食事介助、排泄介助、整容 ・情報収集シート、情報の読み解き ・疾患の理解、分析シート ・生活課題、短期目標、計画の立案、評価
Cさん事例②	7.5	4.0	0.0	<p>【実技演習】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①整容 ②食事介助 ③排泄介助
Gさん事例①		3.5	0.0	<ul style="list-style-type: none"> ・Gさん：58歳女性、要介護3（老健入所）、着脱、入浴介助 ・情報シート、分析シート、生活課題、短期目標
Gさん事例②	7.5	3.0	0.0	<p>【実技演習】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①着脱介助
実技試験		4.5	0.0	<ul style="list-style-type: none"> ・実技試験練習 ・実技試験 ・成績発表および講評
授業時間数合計	45.0	45.0	0.0	

科目名	医療的ケア（演習）			
到達目標	<p>○喀痰吸引のケア実施の流れ（準備から実施、報告・記録まで）について、評価票に基づき、口腔内、鼻腔内、気管カニューレ内部をそれぞれ5回以上行い、評価を得る。</p> <p>○経管栄養のケア実施の流れ（準備から実施、報告・記録まで）について、評価票に基づき、胃ろうまたは腸ろうによる経管栄養、経鼻経管栄養をそれぞれ5回以上行い、評価を得る。</p> <p>○救急蘇生法について、心肺蘇生の流れを、1回以上行う。</p>			
指導の視点	喀痰吸引・経管栄養・救急蘇生法について、演習を通じて一連の流れ（手順）を1人で実施できるよう修得する。			
授業項目	時間数	通学	通信	目標・講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等
喀痰吸引のケア実施の手引き	7.0	7.0	0.0	<ul style="list-style-type: none"> ・口腔内および鼻腔内 ・気管カニューレ内部
経管栄養のケア実施の手引き	7.0	6.0	0.0	<ul style="list-style-type: none"> ・胃ろうまたは腸ろうによる経管栄養 ・半固形栄養剤による胃ろうまたは腸ろうの経管栄養 ・経鼻経管栄養
救急蘇生法の手引き	7.0	1.0	0.0	<ul style="list-style-type: none"> ・救急蘇生法 ・AED使用の手順
授業時間数合計	14.0	14.0	0.0	